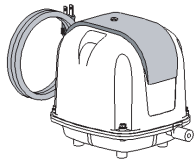


AP型エアーポンプ 取扱説明書 保証書付

電磁式エアーポンプ

無給油・屋外仕様

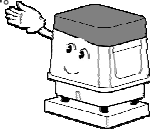


AP-40GM
AP-60GM
AP-80GM

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い・日常の
お手入れ方法及び注意事項などを記載しております。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、大切に保管し、必要なときにお読みください。

このポンプを浄化槽にご使用される場合は、法律により
維持管理が義務付けられています。
また、長期間ご愛用いただくために補修部品の定期交換等、
定期メンテナンスが必要となります。
専門の維持管理業者と管理契約の上、定期メンテナンスを
実施されることをお勧めします。
なお、本書の図やイラストは一例を示したもので、詳細は実際の製品と
異なる場合があります。

維持管理業者様向け取扱説明書につきましては弊社ホームページにて
ご参照ください。（右の二次元コードを読み取りでも接続可能です。）
<https://www.fine-yasunaga.co.jp/y-ap/manual/index.html>



1. 警告表示について

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用者様や他人への危害、
財産への損害を未然に防ぐための安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。
この取扱説明書では、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で
説明しています。

	警告 この表示の欄は、『死亡または重傷を負うことが想定される』内容を 示します。
	注意 この表示の欄は、『障害を負う可能性及び物的損害の発生する可能性が 想定される』内容を示します。

※ 物的損害とは、家屋・家財・家畜およびペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく内容の種類を、次の絵表で区分し説明しています。

	製品の取り扱いにおいて、気をつけていただきたい「注意喚起」 内容を示します。
	製品の取り扱いにおいて、してはいけない「禁止」内容を示します。
	製品の取り扱いにおいて、必ず実行していただく「強制」内容を 示します。

2. ご使用の前に

下記の製品・付属品が全て揃っているかどうかご確認ください。
・ポンプ本体 1台・取扱説明書 1部・ホースバンド 2個・ゴムホース（L型）1本

	警告
	・ポンプの据え付け工事（電気・配管工事含む）は専門の維持管理業者または 施工業者へ依頼してください。 ご自分で据え付け工事をされ、不備があると、空気漏れや感電・火災の原因と なります。 ・本ポンプを指定電圧以外で使用されますと、感電や短絡事故の原因となる他、 ポンプの性能を著しく低下させる原因となります。 ・本ポンプは空気の吐出専用です。 吸引用途や固体・液体の吐出用途には使用しないでください。 ・機器に組み込んで装置の一部として使用される場合は、当社にお問い合わせ願います。
	注意
	浄化槽で使用される場合は、維持管理を実施することが必要であり、定期的に 点検・検査を受けることが義務付けられていますので、専門の維持管理業者と 管理契約されることをお勧めします。 不適切な維持管理をされますと、汚水の処理ができなくなり、悪臭や地域的な 水質の汚濁の原因となります。

※ 必ず記入の有無をご確認ください。 もし記入のない場合は、販売店にお申し出ください。		
型式		お買い上げ日 年 月 日
製造番号		保証期間 1年間（お買い上げ日より）
販売店名		
1. 取扱説明書の注意事項に従った正常な使用状態で、保証期間内に発生した故障に ついて、無償で修理または交換を行います。 2. 保証期間内であっても、次のような場合は有償修理とさせていただきます。 ① 取扱説明書の内容を、お守り頂けず起こった故障・破損 ② 不当な改造、または修理により発生した故障・破損 ③ 施工上・維持管理上の不備による故障・破損 ④ 火災、天災地震等の災害及び不可抗力による故障・破損 ⑤ お買い上げ日・販売店に記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合 3. 当社ポンプの故障による他の部分の不具合等につきましては保証し兼ねます。 4. 不具合の原因が不明な場合は、別途協議させていただきます。 5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。		



Yasunaga 安永エアポンプ株式会社

872AP40GMTS0
24.8

3. 取り扱いについて

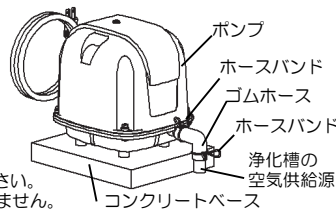
	警告
電源コードはプラグ部をもって抜き差しを してください。 濡れた手でプラグ部を 触らないでください。 火災や発火の原因と なります。	本ポンプをご使用者様自身で 分解・改造しないでください。 ご自身で分解・改造され 不備があると、感電・火災の 原因となる他、ポンプの性能を 著しく低下させる原因となります。
	注意
・ポンプ本体を運ぶときは、本体底面を持ち 両手でかかえて運んでください。 ・ポンプ停止直後は、ポンプの温度が高くなっ ていますので、冷えてからおこなってください。 ・クリーナカバー部を持って持ち上げないでください。 クリーナカバーが破損し、けがの原因となります。 ・電源コードを持って持ち上げないでください。 内部の線が切断し、発熱・発火の原因となります。	本体に水、または油類を かけないでください。 ポンプは水洗いしないで ください。 感電・短絡事故の 原因になる他、 ポンプの寿命を 縮める原因となります。
電源コードの上に ものを置いたり、 踏んだりしないで ください。 コードが傷つくと 火災・感電・漏電の 原因になります。	ポンプ本体の上のりたり、 可燃性ガスや可燃物を ポンプの近くに置かないで ください。 ポンプが破損したり 損害を受ける原因と なる他、火災の原因となります。

4. 設置場所について ※ 維持管理が容易にできる場所に設置してください。

	注意
・ポンプの近くに可燃物を置かないでください。 ・ポンプを水面より下に設置しないでください。 ポンプを停止させた時、水が逆流し、漏電・感電の 原因となります。 ・ポンプの上に防音対策などのカバーをかぶせないで ください。 内部温度が上昇し、ポンプが早期破損の原因になります。	
	・フロアガスなどの可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へは設置しないでください。 ガスが漏れ、ポンプの周囲に溜まると発火の原因となることがあります。
	・配管は長さ 10m 以下を目安に、曲がり部は 5曲がり以内としてください。 配管は塩ビ管 VP13 を使用してください。 ・ポンプは直射日光のあたる場所を避け、風通しの良い場所に設置してください。 ・湿気やホコリの多い場所は避けて設置してください。 ・換気扇の下など油分を吸い込む可能性のあるところを 避けて設置してください。 ・大雨が降っても、ポンプが冠水しない場所に設置してください。 ・ポンプは積雪のない場所に設置してください。
	ポンプ本体に雨水がまとまっ てかかる場所は避けてください。 通常の雨では、雨水がポンプ内 に入り込むことはありませんが、 雨どいや配電盤の下など、雨水が まとまってかかる場所は避けてください。
	まとまってかかる 場所を避けられない 場合は、ポンプの上に 水よけの屋根などを 取り付けてください。
これらを怠ると感電・発火・漏電の生ずる恐れがある他、ポンプが早期に破損する 原因となります。	
	ポンプ本体は寝室や応接室など、運転音の 気になる所から離して設置してください。
	ポンプは地表より 10cm 以上高いコンクリート ベースの上に設置し、建物の基礎と切り離して ください。また、壁より 20cm 以上離して 設置してください。 これらを怠ると 振動・騒音・浸水の 原因となります。

5. 施工方法

- ポンプ本体は地表より 10cm 以上高い
コンクリートベース上に水平に設置し、
建物の基礎とつながないようにし、
壁から 20cm 以上離してください。
- 配管は図のようにポンプ吐出口と塩ビ管を
同梱されているゴムホースでつなぎ、
ホースバンドで確実に止めてください。
- 屋外コンセントは防水型コンセントを使用し
電源配線には漏電ブレーカを取り付けてください。
※ D 種接地工事（アース工事）の必要はありません。



	注意
電源コードの抜き差しは プラグを持って おこなって ください。 濡れた手でプラグ部を 触らないでください。	ポンプを屋外にて 運転される場合は 防水型コンセントを 使用してください。
	ポンプの電源の 配線には必ず 適正な電線を使用し 漏電ブレーカを 取り付けてください。 ※ 仕様表の 電流値を参照

6. 試運転

	注意
使用圧力範囲外で使用されますと、ポンプに負荷がかかり寿命を著しく 低下させる原因となります。適正な圧力で運転してください。 仕様表の使用圧力範囲をご確認ください。	
1. 配管途中にストップバルブがある場合は、バルブが開いていることを確認してください。	
2. 浄化槽内に規定水位まで水張りされているか確認してください。	
3. プラグをコンセントに差し込み、正常にばっくしているか確認してください。 浄化槽以外にご使用の場合は、吐出圧力が仕様表の使用圧力範囲内であるか 確認してください。	
4. ポンプ本体からの異常音や異常な振動がないか確認してください。	

7. 日常のお手入れ

警告

ポンプ本体のお手入れは、必ず電源プラグを抜き、ポンプの停止を確認してからおこなってください。

また停止直後はポンプの温度が高くなっていますので、冷えてからおこなってください。

電源プラグにホコリが付着していないか半年に一度は点検してください。

ホコリの付着があった場合はプラグを抜き、ホコリを除去した後、電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。⇒火災・感電の原因となります。

・ポンプ本体は水洗いせず、かたく絞った雑巾などで拭いてください。

汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤を含ませ、かたく絞ってお使いください。

ペンジン・シンナーを使わないでください。塗装等を傷める原因となります。

・ポンプから異常な騒音や振動が発生したり、浄化槽の悪臭などでお困りのときは、専門の維持管理業者または施工業者に相談してください。

8. メンテナンスについて

クリーナエレメントの点検・清掃は 3〜4ヶ月毎に 1度実施してください。

クリーナエレメントが目詰まりしていたり、クリーナパッキンが劣化しているときは交換してください。

注意

これらの点検を怠ると、吐出空気量の減少や本体が異常に加熱し、ポンプの寿命が短くなる他、浄化槽の性能を低下させる原因となります。

1. コンセントから電源プラグを抜いてください。

2. クリーナカバー止メネジを外してください。

なくさないように保管してください。

3. クリーナカバーを上を引き上げてください。

4. クリーナカバーについているクリーナパッキンが破損していたり、劣化している場合は交換してください。

5. クリーナエレメントを外し、ゴミ・ホコリを取り除いてください。

汚れがひどい場合は交換してください。

6. クリーナエレメントを元の位置に取り付けてください。

7. クリーナパッキンがずれていないことを確認し、クリーナカバーを載せてください。

8. クリーナカバー止メネジでクリーナカバーを固定してください。

9. プラグを差し込み、正常にばっ気していることを確認してください。

10. ポンプの音、振動に異常がないことを確認してください。



クリーナカバー
止メネジ
クリーナカバー
クリーナパッキン
クリーナエレメント
カバー

注意

クリーナパッキンをずれて取り付けたり、劣化したものを取り付けられると、雨水がポンプ内部に侵入し漏電の原因となる他、ポンプが早期に破損する原因となります。

9. 保護スイッチの復帰方法

AP-40GM・60GM・80GMにはチャンバブロックが破損した場合、ポンプの運転を停止させ、2次破損を低減するために保護スイッチを設けています。

保護スイッチは駆動部の電磁石部に設けられており、正常時は ON 状態にあり、レバーでスイッチの接点ボタンを押していますが、チャンバブロック破損等の原因により、ロッドの動作が不安定になると、ロッドのツメ部がレバーをスライドさせ、レバーが接点ボタンから外れ、スイッチの接点が OFF となり、ポンプが停止します。

復帰の方法について

1. コンセントから電源プラグを抜いてください。

2. カバー止メネジ（4本）を外しカバーを外してください。

3. プレート止メネジ（4本）を外しカバープレートを外してください。

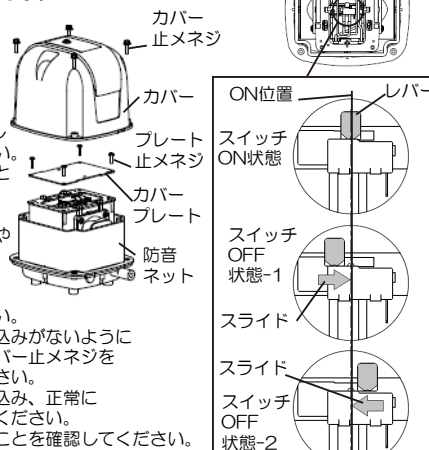
4. レバーをスイッチの接点ボタンと一致する位置までスライドさせスイッチを復帰させてください。

5. カバープレートパッキンの捲れや配線の噛み込みがないように注意してカバープレートを取り付け、プレート止メネジを均等にしっかりと締めてください。

6. 防音ネットの捲れや配線の噛み込みがないように注意してカバーを取り付け、カバー止メネジを均等に、しっかりと締めてください。

7. コンセントに電源プラグを差し込み、正常にばっ気していることを確認してください。

8. ポンプの音、振動に異常がないことを確認してください。



カバー止メネジ
プレート止メネジ
カバープレート
防音ネット
ON位置
スイッチ ON状態
スイッチ OFF状態-1
スライド
スライド
スイッチ OFF状態-2
レバー

10. 維持管理の方法

- 電源コード・プラグのチェック
電源コード・プラグの被覆が破れていないか、電源コード・プラグが異常に熱くないか、プラグの刃の部分にホコリが付着していないか、プラグが根元まで確実に差し込まれているかを確認してください。
- ポンプとポンプ周りのチェック
ポンプが作動しているか、ポンプの音、振動に異常がないかを確認してください。
- 圧力のチェック
使用圧力は常用圧力付近に合わせてください。
- また、高温環境での使用や油分の吸入など使用条件によっても劣化は進行しますのでチャンバブロックは消耗部品として、定期的に交換してください。
- チャンバブロック
1年に1度、駆動部のチャンバブロックを左右同時に交換してください。
- チャンバブロックのゴム部品は通常の使用においても、常に振動しており劣化は避けられません。
- また、高温環境での使用や油分の吸入など使用条件によっても劣化は進行しますのでチャンバブロックは消耗部品として、定期的に交換してください。
- チャンバブロックの交換などでカバー、カバープレートをあけられたら、カバーパッキン、カバープレートパッキン、ケーシングパッキンを交換してください。
- チャンバブロックが破損したまま運転されまると、ロッドや電磁石部が破損に至ることがあります。
- ロッドが破損した場合は交換してください。
- 電磁石が破損した場合は、ポンプを使用しないでください。

11. 故障かな? ... と思ったら

警告

異常があると思われた場合、直ちにプラグを抜き、運転を停止してください。

⇒運転を継続しますと、故障・漏電・感電・火災の原因となります。

ポンプを絶対に分解・改造しないでください。

(クリーナエレメントの点検・清掃・交換を除く。)

⇒感電・火災の原因となる他、ポンプの性能を著しく低下させる原因となります。

こんなとき	お調べください	処置
ポンプが動かない	停電していませんか？ 電源プラグが抜けていませんか？	停電が確認してください。 電源プラグを差してください。
	その他の状況の場合。	維持管理業者または施工業者に問い合わせてください。
空気量が少ない	クリーナエレメントが目詰まりしていませんか？	クリーナエレメントを点検・清掃してください。
	その他の状況の場合。	維持管理業者または施工業者に問い合わせてください。
音・振動が大きい	ポンプに物が接触していませんか？	接触している物を取り除いてください。
	クリーナカバーが正しく取り付けられていますか？	クリーナカバーを正しく取り付けてください。
	クリーナエレメント・クリーナパッキンが正しく取り付けられていますか？	クリーナエレメント・クリーナパッキンを正しく取り付けてください。
	ポンプとコンクリートベースにカタがありませんか？	ポンプを置きなおしてください。
	ポンプが傾いて設置されていませんか？	ポンプを水平に置きなおしてください。
	配管接合から空気が漏れていませんか？ その他の状況の場合。	維持管理業者または施工業者に問い合わせてください。 維持管理業者または施工業者に問い合わせてください。
浄化槽から悪臭がする	浄化槽の機能が果たせていない場合があります。	維持管理業者または施工業者に問い合わせてください。

12. アフターサービスについて

- 補修部品について
・補修部品交換のご用命は、専門の維持管理業者または施工業者にお申し付けください。

	AP-40GM・60GM・80GM
メンテナンスキット	SPAP40GMAY
ロッドAY	SP877AP40GMAY
エアークリーナパッキン	870AP30FO-A
エアークリーナエレメント	898AP3000-A

- 2. 修理を依頼される前に
・異常があると思われたときは、『故障かな? ... と思ったら』をお読みください。
- ・点検後も症状が直らない場合は、直ちに電源プラグを抜き、運転を停止させてから専門の維持管理業者または施工業者にお問い合わせください。

警告

補修部品の交換は、ご使用者様自身でせずに、専門の維持管理業者または施工業者に依頼してください。

ご自身で分解・交換をされ不備があると、感電・火災の原因となる他、ポンプの性能を著しく低下させる原因となります。

お問合せの際は次の内容をお伝えください。

- ・型式 : AP-〇〇 (本体側面のラベルに記載しています)
- ・製造 No. : 8桁の数字 (本体側面のラベルに記載しています)
- ・症状 (具体的にお伝えください)

13. 仕様表

	AP-40GM	AP-60GM	AP-80GM
定格電圧 V	100		
定格周波数 Hz	50 / 60		
使用圧力 kPa	15.0	14.7	
使用圧力範囲 kPa	10 ～ 20		
使用温度範囲	-10 ～ 40℃ 90% 以下（結露なきこと）		
風量 ※ L/min	40	60	80
消費電力 ※ W	26	35	51
電流（参考） A	0.6	1.0	1.5
接続管径 mm	外径 φ18（VP13）		
質量 kg	5.8		

※ 風量及び消費電力は常用圧力で使用した場合の代表値であって、保証値ではありません。